

しみず 元気 プロジェクト

「しみず元気プロジェクト」は、静岡市内の企業や商店が取り扱っている特定の商品が「寄付つき商品」として販売し、売上げの一部を NPO 団体に贈る取り組みです。

企業・商店にとってのメリット

宣伝効果

- メディアに取り上げられる機会が増える
- 企業・商店のイメージ、社会的評価が上がる
- 支援団体の SNS や会報等で取り上げられる

社会貢献

- 支援団体の活動を通して、社会貢献ができる
- 社員のモチベーションが向上する
- 支援団体との交流で多くの人と繋がりを持つ

この取り組みの特徴

寄付つき商品は、山口県の赤い羽根共同募金会をはじめ、全国各地で取り組まれています。

当プロジェクトの特徴は、企業のみなさまにどのような活動や団体に支援をしたいのかをお聞きし、ふさわしい団体につなぎます。両者が合意すれば覚書を交わして支援が始まります。

支援される団体は、活動報告書の提出をするともに、活動の案内やお誘いをするなど、顔の見える交流をしていきます。



企業のみなさまへ

地域には、高齢者の介護、子どもの貧困、子育て家庭の孤立、放置竹林などの環境悪化、人口流出及び少子高齢化など、たくさんの課題が山積しています。

これらは行政だけでは解決できませんが、市内では多くの市民活動団体や NPO 法人が魅力あるまちづくりのために活動しています。

そこで私たちは、企業のみなさまに「寄付つき商品」の取り組みをご提案いたします。

市民活動団体に寄付することで、市民（消費者）も巻き込み、一緒にまちの課題を解決していきましょう。

この社会貢献は、消費者が見える地域密着型の企業だからこそ、本業のプラスにもなります。

ご協力、よろしくお願いいたします。

特定非営利法人 NPO サポート・しみず



お問合せ

特定非営利法人 NPO サポート・しみず

〒424-0943 静岡市清水区港町 2-1-1 キララシティ 2F
静岡市清水市民活動センター内

☎ (054) 340-1012

✉ n-support@shimizu-s-center.org
🌐 http://nsp.shimizu-s-center.org

※特定非営利法人 NPO サポート・しみず は、静岡市清水市民活動センターの指定管理者として、市民活動をサポートしています。



しみず 元気 プロジェクト



寄付つき商品
が
つ
な
ぐ
あ
な
た
と
企
業
と
N
P
O

静岡も元気にするしくみ

イロイロな支援のかたち

※今までマッチングした企業とNPOの一例です



米店×中山間地振興 〈独自銘柄米〉

「独自銘柄米」の売上げの一部を、耕作放棄地の再生を行なっている団体へ寄付しています。さらに、NPOが栽培した米の販売ルートを紹介、こども食堂へ米自体も寄付しています。



■NPO 法人複合力

水産加工会社×こども食堂 〈日替り定食〉

直営食堂の「日替り定食」の売上げの一部が、市内のこども食堂に寄付されています。売上げも伸び、寄付する側にもメリットがありました。子ども達の心身を守る活動の一助となっています。



■くさなぎこども食堂

食品販売×芸術活動 〈冷凍グラタン〉

自社製品「冷凍グラタン」の売上げの一部で、保育園・こども園・養護・学童保育・病院施設などを回り影絵を届けている劇団を応援しています。劇団員は一般市民で構成されています。



■影絵劇団いちばん星

パン屋さん×生活困窮者支援 〈パン詰合せセット〉

夕方になると販売される「パン詰め合わせセット」の売上げの一部が、生活困窮者支援を行うNPO法人へ寄付されています。さらに、食品ロスを減らすことにもつながっています。



■NPO 法人 POPOLO

乾物卸×里親家庭支援 〈乾物詰合せセット〉

「乾物詰合せセット」の売上げの一部を、市から委託された里親支援事業を実施するセンターへ寄付しています。里親とは、家庭で生活ができない子どもたちを社会全体で養育していく制度です。



■NPO 法人静岡市里親家庭支援センター

ホテルレストラン×子育て支援 〈協賛金〉

寄付つき商品は難しいということで、「協賛金」という形で支援しています。寄付金は観劇や遊びを通して子どもの豊かな感性と、ゆとりある親子関係を育む活動に使われています。



■清水おやこ劇場

うれしい声たくさん

- いつも寄付つき定食を食べてくれるお客様が、「こども食堂」へ絵本を寄付してくださいました！
- 取引相手が寄付つき商品を知っていて、話が盛り上がりました
- 元気プロジェクトがご縁でつながったNPOが栽培した酒米で、日本酒を造ることになりました
- 企業さんからいただいた寄付で、活動がより活発になりました



▲市役所で行なった記者会見の様子が静岡新聞に掲載されました